

高齢者肺癌の外科治療における術前栄養スコアの子後因子としての意義

1・研究の対象

2012年1月～2020年12月に当科で肺癌に対して手術を受けられた80歳以上の方。

2・研究目的・方法

研究目的

高齢者肺癌患者において術前の炎症や栄養状態が子後に影響するという報告が散見されます。様々な炎症・栄養評価スコアがあるなかで、高齢者肺癌患者の子後をより正確に予測できる指標について比較検討した報告は少ないため、本研究では各スコアと術後子後との関連について検討し、最も有用なマーカーを見つけることを目的としています。

研究方法

【方法】

2012年1月から2020年12月までの間に、高知大学医学部呼吸器外科で原発性肺癌に対して手術を受けた80歳以上の患者さんの臨床データ（年齢、性別、喫煙指数、術式、組織型や、炎症や栄養状態を評価するための採血データ）を保管してあります。電子カルテ内のこれらのデータを様々な組み合わせで、これらと患者さんの子後（生存しているか、再発しているかなど）についての関連を分析します。

【研究期間】

この臨床研究の研究期間は、倫理委員会承認日～2025年3月31日までです。

3・研究に用いる試料・情報の種類

患者さんは、個人を特定出来ないように匿名化して研究を進めます。手術を行った時の年齢・性別・手術で摘出した腫瘍組織の病理組織診断、免疫染色の結果、病理組織型、腫瘍径、採血データ、再発の有無、術後の生存期間です。

4・お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部呼吸器外科学講座 田村昌也

電話番号 088-888-0414

研究責任者： 高知大学医学部呼吸器外科学講座 教授 田村昌也